



よく聞きよく考える子

仲よく助け合う子

心と体をきたえる子 令和6年3月22日【卒業式】号 TEL 04-2952-2265

たぶき 榊の木

3月22日現在児童数 374名

狭山市立水富小学校

いつでも笑顔・本気、いつでも挑戦・感謝、チーム水富小

ご卒業おめでとうございます！！～六十一名の新たな旅立ち～（校長式辞より一部抜粋）

六十一名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。先ほど一人一人に手渡した卒業証書は、六年間の小学校での全課程を修了した証であります。それを手にしたみなさんは、一つのことをやり遂げた達成感や、みなさんのことを支え続けたご家族、地域の方々への感謝の気持ちでいっぱいなのではないかと思います。みなさんは六年間という長い期間、本校に通いました。思い返してみてください。小さな体で背中からはみ出しそうな大きなランドセルを背負い一年生として本校に入学した日から、日々「まなび」「きたえ」互いに「助け合い」、時には涙し、時には笑い、今この時を共有している仲間と共にこの学び舎で成長してきました。今では大きいと感じていたランドセルも、成長して大きくなった体と比べ小さくなったと感じているのではないのでしょうか。皆さんはこの六年間にどんな学びや思い出をランドセルに詰めてきたのでしょうか。友達と過ごした教室、全力で走った校庭、校門のシンボルツリー榊の木と天高く大空をさす希望の像、難しかった算数の計算、口いっぱいに頬張ったおいしい給食、雨の中通った通学路、友達と笑顔であいさつを交わした昇降口、けんかして仲直りした廊下……。まだまだたくさんありますね。そして今日、卒業という旅立ちの日が、みなさんにとって水富小学校での最後の学び、そして思い出となります。最後に校長から皆さんに「本気で生きるということ」についてメッセージを送ります。

「理想の自分を手に入れる方法」

感じたことに考えが加わり思いとなります。思いはやがて強い願いとなり、そして夢となります。夢を現実にするのか、そうでないかは自分の意志次第です。夢はやがて自分を突き動かす強い意志となり志となります。確固とした志は自分の中に眠っている潜在能力を呼び覚まし、強い強い信念となります。強い信念をもち続ければ、必ずそれは実現します。

「賢く生きる方法」

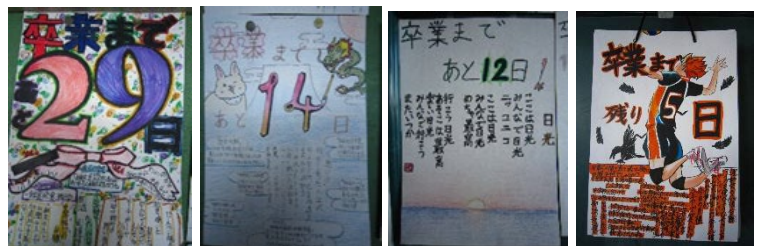
自分のアンテナをより多く、より高くもちます。自分のアンテナに引っかかった情報について、よく考えます。よく考えるとそこにアイデアが生まれます。そのアイデアを実現するためには、まず何が必要なのかを考え、計画を立てます。常にそのアイデアが現実のものになった強いイメージをもち続け、何度失敗しても最後まで決してあきらめずに努力をします。惜しまず努力を重ねた人だけに成功

というゴールが訪れます。九十九回失敗し続け、百回目は成功というところまで来て、その志をあきらめてしまっている人がほとんどです。努力は決して人を裏切りません。

「勇氣と元氣」

人は母親から産まれてくるときに。片手に勇氣、片手に元氣を握りしめて産まれてくるそうです。その勇氣は使わないとどんどん減っていき、使えば使うほど増えていきます。元氣も人から人へと伝わっていきます。自分の元氣が周りの人を元気にし、他人の元氣が自分をより元気にしてくれたりもします。

さて、四月からみなさんはいよいよ中学生です。話には聞いていることと思いますが、これまでの小学校での生活に比べて大きく変化することになります。例えば、服装について言えば、中学校では制服を着用します。またその着方をはじめその他学校のルール、教科ごとに替わる先生、部活動や上級生との関係など、小学校の頃とは違った制約を受けることとなります。最初は戸惑い、不自由さを感じるかとは思いますが、様々な制約の中で生活している大人への第一歩として、この変化にうまく適応して、充実した三年間にしてください。



確実に引き継がれる水富小学校の伝統～6年生から5年生へ～

新通学班編成や最終の委員会活動・クラブ活動、なかよしタイムや卒業式練習等を通じて、水富小学校の伝統や「いつでも笑顔と本気、いつでも挑戦と感謝、チーム水富小」の精神が6年生から5年生に少しずつですが確実に引き継がれていきました。卒業式という最後の行事を共に過ごし、6年生は新たな未来へ希望を確信し、5年生はその立派な6年生を見習い、より良い水富小学校を創って行こうと強く決意したと思います。6年生今までありがとう、5年生これからよろしく。

水富小学校児童の活躍の紹介(善行表彰)

3月に善行表彰された児童は、昼休み中ずっと砂ぼこりで汚れた三階の廊下を自主的に水拭きできいいしてくれた6年生3人の児童です。感謝の心をもって良い行いをする児童が育っています。